



時を守る、礼を尽くす、場を清める

詫間中学校では、「中学生としての規範を判断し、主体的な活動のできる生徒の育成」を生徒指導方針に掲げ、基本的な生活習慣の定着を図るため、右のような3つのスローガンをたて、全職員で取り組んでいます。その成果が表れている朝の風景を紹介します。

- ◆ 時を守る : 8時5分前登校、授業2分前チャイム着席
- ◆ 礼を尽くす : あいさつの励行
- ◆ 場を清める : 所持品の整理・整頓、清掃活動

「おはようございます!」。「花と浦島の里」に、笑顔の花が咲き誇り、元気なあいさつの声が飛び交う風景が見受けられます。これは、生徒会主催の「あいさつボランティア」として、生徒会有志が毎朝正門付近に集まり、登校してくる生徒や先生方、地域の方々にあいさつをしているものです。このように、生徒会が主体的に活動している学校は、活気に満ちあふれています。きっと自分たちの学校に誇りが持てるすばらしい生徒たちに育っていくことでしょう。(この様子は、「広報みとよ」6月号に掲載される予定です)

昨日は、ゴールデンウィークを終え、久しぶりに生徒たちが登校してくる朝でした。連休疲れも心配されましたが、いつもと変わらぬ光景で一安心しました。自ら進んで元気のいいあいさつをする人、ニコッと笑顔を返してくれる人、元気な声は届いてこないけれども口元が「おはようございます」と動いている人、・・・、4月当初よりもあいさつがよくできるようになってきている気がします。「元気だから声を出すのではない。声を出すから元気になる」のです。元気のいいあいさつ、それが詫間中学校の誇りです。



しかし、1つだけ気になることがありました。小雨に濡れながら登校してくる生徒が多いということです。カッパを着るのが面倒くさいからでしょうか、それともカッパを着ると蒸し暑くて嫌なのでしょうか。風邪をひいてしまっては手遅れです。各家庭でも、雨の状況を判断し、一声かけてくださるようお願いします。

7時55分、校門付近に生徒の姿はほとんど見えません。8時5分前までに教室に入るという約束がきちんと守られているからです。これも詫間中学校が誇れることです。

また、活躍しているのは生徒たちだけではありません。生徒たちがさわやかな一日のスタートが切れるよう、そして規律ある学校生活が過ごせるよう、先生方も頑張っています。生徒指導主事の高橋先生や生徒会担当の横田先生は、生徒会と共に立ち、生徒一人一人に声をかけています。自転車置き場では、交通主任の前田先生を中心に、竹本先生、岩崎先生、三木先生が自転車の整理・整頓の指導に取り組んでいます。その他の先生方も、教室、廊下、靴置き場など、それぞれの場所で生徒の様子を見守っています。

生徒一人一人が、そして先生一人一人が、おのれの力を出しきって、みんなの力を出しあって、日々心豊かにたくましく生活している学校、それが詫間中学校です。

部活動PTAありがとうございました

1年生の保護者にできるだけ早く部活動の様子を知っていただくこと、昨年より約1か月早い5月1日に部活動PTAを開催しました。平日にもかかわらず、学校の敷地が満車になるほど大勢の方が来校されました。部活動に対する期待の表れであると感じました。中には、軽トラックにいっぱいアルミ缶を積んで来られ、そのまま部活動を見学された方もいらっしゃいました。ありがとうございました。

帰り際に、参観者の方から「先輩から厳しくされないかと不安だったようですが、仲良く活動している姿を見て安心しました」「運動場から元気なかけ声が響き、とても活気のある学校だと感じました」「先生方が熱心に指導されていてありがたく思いました」などの感想をいただきました。

今後とも、地域の“熱いサポーター”として、部活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願いします。